八丈島産

1. Nesogeophilus littoralis Takakuwa イソシマヂムカデ 2雄, 三根海岸 V, 29, 1949.
2. Lithobius sp. 1雌, 2雄, 小湊 V, 24, 1949.

新島産

3. Nesogeophilus kozuensis Takakuwa シマヂムカデ 1雌, V, 12, 1951.
4. Lithobius sp. 1雌, V, 12, 1951.

大島産

5. Bothropolys asperatus (L. Koch) イツスンムカデ 1雄, 岡田村 Ⅱ, 8, 1951.
6. Otocryptops rubiginosus (L. Koch) セスジアカムカデ 1雄, 岡田村 Ⅱ, 8, 1951.
7. Scolioplanes sp. 1雌, Yonohama Ⅲ, 30, 1948.
8. Pachymerium ferrugineum C. L. Koch フタマドヂムカデ 1雌, Yonohama Ⅲ, 30, 1948.

八丈島産のうち, イソシマヂムカデは前回の報告に含まれていなかつた種であり, この結果八丈島所産種は21種（不明3種を含む）となる。新島のシマヂムカデは國府津, 江の島から既知であつた。大島産唇足類については筆者の手元の標品と共に詳しい報告を現在作成中である。（篠原圭三郎）

クモノート

◇1951年8月に黑澤良彦氏（國立科學博物館動物學課）が伊豆七島の内三宅島で採集したクモを, 同氏から見せて頂いたがそれらは次の通り。

アシダカグモ Heteropoda venatoria (Linné)

8月23日 神着（カミツキ） 八丈島からも三宅島からも既知。

トゲグモ Gasteracantha kuhli C. L. Koch

8月23日 伊豆 この種は分布汎く當然伊豆七島にも產すべきで恐らく採集した御方はあるのであろうが報告した人はない。從つて三宅島のみならず伊豆七島よりの新記錄となる。

ヒトハリザトウムシ Gagrella japonica Roewer

8月22日 坪田 いわゆる盲蛛の仲間である。八丈島からは既知。

◇New York の古書肆 John D. Sherman, Jr. で1951年10月に出した Catalogue No. 65-Serials and Books about Insects and Spiders で覽ると本誌のバツクナンバーは相當貴重品のようである（戰前の分は事實貴重品になつた）。同目錄の6頁に

ACTA ARACHNOLOGICA. Tokyo. Vols. 1-4, 1936-39. Sixteen issues. Japanese text. 676 pp. 47 pl. $ 25.00 (All back numbers were destroyed in an Air Raid

in 1945. Vol. 9 was the last published.) とある。 第4巻までの揃が25弗であるのを知ると東京の古書肆考古堂で創刊號からほゞ最新號までの揃1萬圓は高いようで安いということになる。 (高 島)

お 知 ら せ

◇高桑良興先生は今年數え年で80歳になられ益々御元氣です。 1月21日には松葉杖に縋つて (奇禍以來永いこと松葉杖が必要でした) 皇居內生物學御研究所を拜觀された程です。故フエルヘフ博士令孃は高桑先生80になられたにつき遙々祝辭を寄せて來られました。 同博士喜壽祝賀記念號は今號を以て第3册になりますがこれにて芽出度く完結です。 先生から寄せられた1文を卷頭に揭げました。

◇會員高木敏行氏が高校在學中に病逝されてから歲月の推移は早く, 今年5月30日を以て3周忌を迎えました。 御兩親により懇な追悼の法要が營まれましたがその記念にもと高木家より本會宛御寄附を賜わりました。御志を尊重し本號發行の費用に充てさせて頂きました。若き蜘蛛研究家の容易に現れぬ昨今, 高木氏の夭折を惜しむの念深きものあるを覺えます。

◇1951年8月オランダのアムステルダムで戰後2度目 (第9回) の國際昆蟲學會議が開かれ日本からは湯淺啓溫, 八木誠政, 桑山覺3氏が代表として出席されました。後に湯淺氏から伺い得たところでは同會議第14の Section たる Arachnoidea 關係では發表された論文9篇 (日本無し), Symposium は2題あつたそうで Symposium は "The value of some taxonomical characters for the classification of spiders" を P. Bonnet, H. Homann 兩氏が演說したようです。

◇會員の皆樣に速報したい事項は年に1册しか出ない本誌ではとても間に合わないので北隆館發行の月刊誌「〃昆蟲」を借りて書くことがあります。次の記事など御參照下さい。

紹介 The Zoological Record, Vol. 85, Sect. 12, 1948. Arachnida 〃昆蟲 5-2:11

昆蟲學研究連絡小委員會の發足 同上 5-4:4

タイプスペシメン保存に關する調査 同上 5-6:30

日本學術會議の昆蟲學研究連絡小委員會には私 (高島) は Arachnology のほうの連絡者として參加しております。

◇當代カニムシ研究の第1人者墺の Dr. Max Beier は戰時中鐵兜をかぶり屋上で防空監視の役をなさつたりしたそうで, 私達もそれと同じことをやつたので可笑しくなりますが, 戰後の消息を知りませんでした處想いがけぬ用件から1952年2月25日發信の御葉書を4月14日に入手し同博士の健在を知り喜びました。Wien の Naturhistor. Museum におられます。